

# 全員協議会会議録

- 1 日 時 令和2年3月23日(月)  
16時41分開会 17時34分閉会
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席議員 深沼達生、川上 均、山下清美、中河つる子、鈴木孝寿、高橋政悦、  
佐藤幸一、西山輝和、口田邦男、中島里司、奥秋康子、桜井崇裕、  
議長：加来良明
- 4 事務局 事務局長：山本 司、次長：宇都宮 学
- 5 説明員
- 6 議 件
  - (1) 議会運営委員会からの報告事項について
    - ・議会報告会と町民との意見交換会について
    - ・模擬議会について
  - (2) 意見書案の協議について
    - ・日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書(案)
  - (3) その他
- 7 会議録 別紙のとおり

---

加来議長：皆さん大変御苦労さまです。予算特別委員会の終了後であるが、全員協議会をこれから開催するのでご協力よろしく願います。

(1) 議会運営委員会からの報告事項について  
・議会報告会と町民との意見交換会について

加来議長：それでは、最初に、議会運営委員会からの報告事項について、議会報告会と町民との意見交換会について、議会運営委員長のほうから報告をお願いします。

鈴木議会運営委員長：議会報告会と町民との意見交換会については、それぞれ各常任委員会で協議していただいた結果、例年同様これまでと同じようにテーマを設定して開催するという事になった。総務産業常任委員会からのテーマとして「観光イベントについて」、そして、厚生文教常任委員会からのテーマとして「これからの教育に求めること」の報告を受けた。これらをテーマにして開催をしていきたいと思っている。なお、令和3年度、来年以降の意見交換会については、このような形が望ましいかどうかをもう一度検討し直して、例えば、もう少し小さい形でのワークショップ方式等々を取り入れたりとかも含めて、今後、議会運営委員会で検討させていただくこととなったので、ご報告をさせていただく。

加来議長：只今、委員長のほうから報告があったように、総務産業常任委員会からは「観光イベントについて」、厚生文教常任委員会からは「これからの教育に求めることについて」、この2つのテーマで議会報告会と町民との意見交換会を行いたいということである。この件について質疑等あればお受けしたいと思う。

(なしという声あり)

加来議長：なしということで、このように進めさせていただきたいと思うので、ご協力よろしく願います。

・模擬議会について

加来議長：次に、模擬議会について、議会運営委員長より説明をよろしく願います。

鈴木議会運営委員長：模擬議会について、これも以前より皆様に報告していたところであるが、これは高校生を含めた子どもたちに、社会や政治に対する参加意識を図って、清水町議会やまちづくりに関する理解、関心を深めてもらうことを目的に模擬議会を開催する予定で、清水高校と昨年5月より協議を進めていた。日程調整がなかなかつかず、開催が本日までできていない。最後、10月末の協議で、学校の冬休み明けの1月下旬から2月を予定していたが、アイスホッケーの全国大会の全校応援やインフルエンザ等の感染症など、更には今の新型コロナウイルス関係において、まるっきりめどがつかなくなってしまったのは事実である。高校は授業の一環での対応は難しいため、生徒役員と希望する生徒を参加対象とし

て、模擬議会という形式にはこだわらず、高校生が考えるまちづくりについて、議員と意見交換会の機会を持てればとの意向がある。次年度に向けても、高校の負担にならないようにしながらも、引き続き開催方法を含めて、今後、協議していきたい。これが今の実情、現状であるので報告をさせていただく。

加来議長：模擬議会について、今、委員長のほうから報告があったが、この件について質疑があればお受けしたいと思う。質疑ないか。

(なしという声あり)

加来議長：質疑なしということで、ご了承いただきたいと思う。

それでは、議会運営委員会からの報告事項については、これで終了させていただく。

## (2) 意見書案の協議について

### ・日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書(案)

加来議長：次に、(2)の意見書案の協議について、「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の提出を求める陳情について、3月16日に採択していただいたが、この意見書案について、提出者である奥秋議員のほうから説明をよろしく願います。

奥秋議員：本委員会に付託をされた、この件に関する陳情であるが、先日皆さんに本会議で採択をいただいたところである。それで、今回、政府のほうにこういう内容で意見書を出すように委員会で決めた。最初の原文はもう少し長いが、6行程度の文章をカットした中で、清水町らしくというのか、私たちの思いというものを、町民の思いというものをこの内容でも伝わるのかなということで、今回、この案をつくらせていただいた。よろしくご審議いただくようお願いしたいと思う。

加来議長：只今、奥秋議員のほうから意見書についての説明があったが、このことについて質疑等あればお受けしたいと思う。

高橋議員：参考までに、この文面から読み取れる中で、批准していない国というのは、どのくらいあるのだろうか。

奥秋議員：批准していない国というのは、具体的には調べてはいないが、日本はそれに批准していないということである。

高橋議員：この文面に文句を言うわけではないが、「原子爆弾が投下されてから」の前の「アメリカの」という文言。我々世代、それがアメリカだったのかどうかというのは歴史のときに習ったので、その歴史が正しいのかどうかもわかっていないというところもある。きっとアメリカも批准していないと思うが、特定の国の名前を挙げる必要もなく、「原子爆弾が投下されて」のほうがいいのかと思うし、被爆国なのに日本政府は批准していないというのも変である。それを批准することを求めるといいと思うが、文言をもう少し考えたほうがいいかなという気はする。

奥秋議員：批准という言葉は、ちょっといかなものかということなのか。

高橋議員：「アメリカの原子爆弾が投下されて」の「アメリカ」は削除したほうがいいかと思う。なぜ日本が批准していないか。これはアメリカに気を使っているからだと思う。であれば、わざわざアメリカと書く必要はなく、目的は批准することなので、喧嘩を売る必要もなければというような、気も使った意見書がいいかと個人的にだが、そういうふうには思っている。

奥秋議員：委員会としても、これは非常に趣旨はわかるが、なぜ日本はこれを批准しないのだろうかという意見が出た。そういう中で、外務省のホームページで調べさせていただいたが、それによると、唯一の戦争被爆国でありながら、政府は核兵器禁止条約が目指す核兵器廃絶という目標を国は共有しているということである。また、しかしながら、一方、北朝鮮の核ミサイル開発は日本及び国際社会の平和と安定に対する重大な脅威であるとし、北朝鮮のように核兵器の使用をほのめかす相手に対して、通常の兵器だけでは抑止を効かせるのは困難であると。国民の命と財産を守る責任を有する立場から、現実的な核軍縮を前進させる道筋を追求することが政府も必要であると、そのように理解をしている。そういう中で、国もそういう理解をしながら、これはなかなか批准ができないのだということもあるが、我々としては、それを本委員会としても、この核兵器禁止条約は、戦争被爆国として被爆者とともに住民が切望するものであるとし、この意見書というものは、やはり送る必要があるのではないのかということで採択をしたところである。

加来議長：基本的にはその趣旨を理解した上で、清水町議会としては本会議で意見書の提出を求める陳情については採択している。その文言として、今、高橋議員のほうから、日本がアメリカの核傘下にあるので、アメリカという文言を抜いて意見書を提出したらいいのではないかという、案が今出たところである。その上で、皆さんに諮りたいと思う。

奥秋議員：はい。そうでしたら諮ってください。

加来議長：只今、この意見書案について、高橋議員のほうから、1行目の「広島と長崎にアメリカの原子爆弾を投下されてから」とあるが、その「アメリカ」を抜いたほうがいいのではないかと提案があったが、この件について皆さんどう思うか。

川上議員：核兵器禁止条約というのは、やはり人類を滅ぼすということで世界的なことを考えた中での条約だと思う。そして、日本は、ここにも書いてあるように、現実的には実際に太平洋戦争でアメリカから原爆が落とされて被爆した国であるという事実は間違いないということである。やはりそういうことをもって、逆に言えば、そういうことがあったから、より切実に核兵器の禁止を求めていく、批准を求めるということであるので、別にここを配慮しなくても必要もないと思うし、事実としてあるので、このとおりの原文で私はよろしいと思う。

中河議員：私も事実は事実として、アメリカが投下した原子爆弾ということは、ここは抜かす必要がないと思う。

加来議長：ほかに意見はないか。

(なしという声あり)

加来議長：なければ、奥秋議員から提案されたとおりの意見書案を提出するという  
こと  
でよろしいか。

(はいという声あり)

加来議長：今日提案された「広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから」という、  
このままで提案をさせていただくということでした承をよろしく  
願います。  
では、この意見書案については最終日に提案するので、審議のほうをよろしく  
願います。

### (3) その他

加来議長：それでは、次にその他について皆様のほうから何かあればお伺いしたい  
と思う。

(なしという声あり)

加来議長：それでは、その他をこれで終了させていただきます。

それでは、時間も大分経過した中、ご協力いただきありがとうございます。明日も  
予算委員会があるということで、日程的には大分きつくなってくるが、皆  
さんのご協力を得ながら、当初の最終日に合わせてできるだけご協力いただき進  
めていきたいと思うので、よろしく願います。これで全員協議会を終了する。  
どうもご苦労さまであった。

【閉会 17:34】